

広島県種類別産業廃棄物のフロー分析による 再生利用技術開発の促進提案

県立広島大学生命環境学部 崎田省吾（研究代表者） 西村和之
一般社団法人広島県資源循環協会 山下俊之

1. 背景・目的

広島県の産業廃棄物の状況(H12~25, 図-1)

中間処理目的: 移入 < 移出
最終処分目的: 移入 > 移出



目的: 広島県の産業廃棄物処理(特に中間処理)の強み, 弱みは?

2. 方法

- ①環境省広域移動対策検討調査報告書(H12~25)の整理
- ②マニフェストデータの整理

3. 研究の成果

(1) 中間処理目的・最終処分目的の県別量(図-2)

- ・中間処理目的: 主として近県での移出入である。
- ・最終処分目的: 移出は近県, 移入は関東からが多い。

(2) 中間処理対象廃棄物の絞り込みによる詳細調査
各廃棄物の移動量×移動距離(t・km)による絞り込み

- ・移動量×移動距離(t・km)が大きな移出廃棄物: 広島県内での中間処理(リサイクル)が困難であると推定。→弱み?
- ・移動量×移動距離(t・km)が大きな移入廃棄物: 広島県内での中間処理(リサイクル)が可能であると推定。→強み?

研究対象廃棄物(表-1)。

- 移出: 燃え殻, 汚泥, 廃プラ, 鋳さい, がれき類, ばいじん
- 移入: 燃え殻, 汚泥, 廃プラ, がれき類

(3) 研究対象廃棄物のマテリアルフロー(移動状況図)の作成
一例として: 廃プラスチック(図-3)

- ・マニフェスト情報より, どの会社に移出, 移入されたかを調査した。
- ・県内の主要中間処理業者にヒアリングし, 処理技術や広域移動の要因等について確認した。

→埋立処分場の関係, コストやリサイクル意識の関係, 処理技術・処理方法の関係, 処理実績や慣習等の関係等が挙げられた。

3. 課題

本調査結果を受けた廃棄物処理業界の見解・要望の確認, 研究対象廃棄物のさらなる広域移動の要因等調査, 今後の広島県における廃棄物処理事業や施策の方向性の整理等を行う予定である。

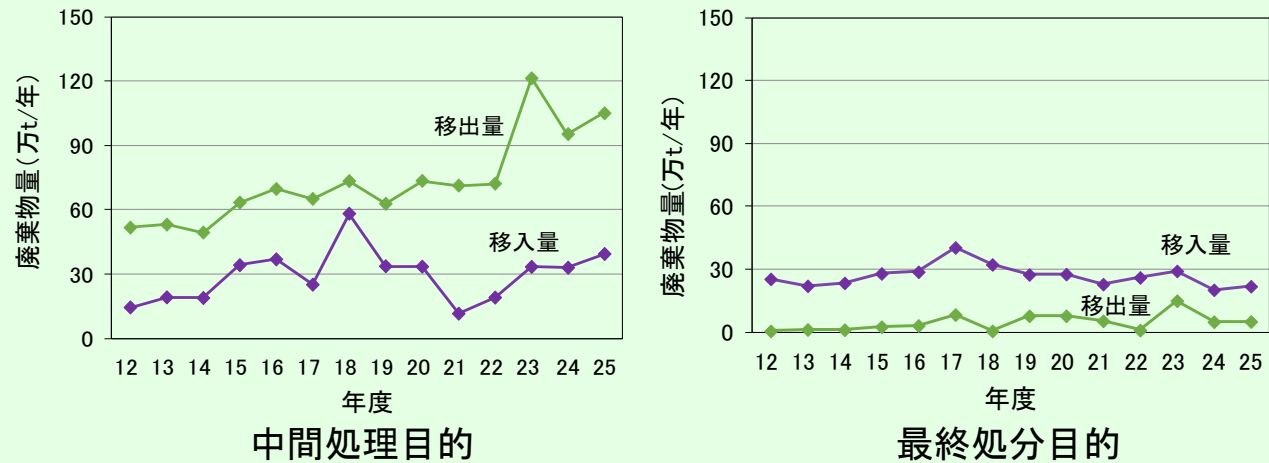


図-1 広島県の産業廃棄物の移入・移出状況

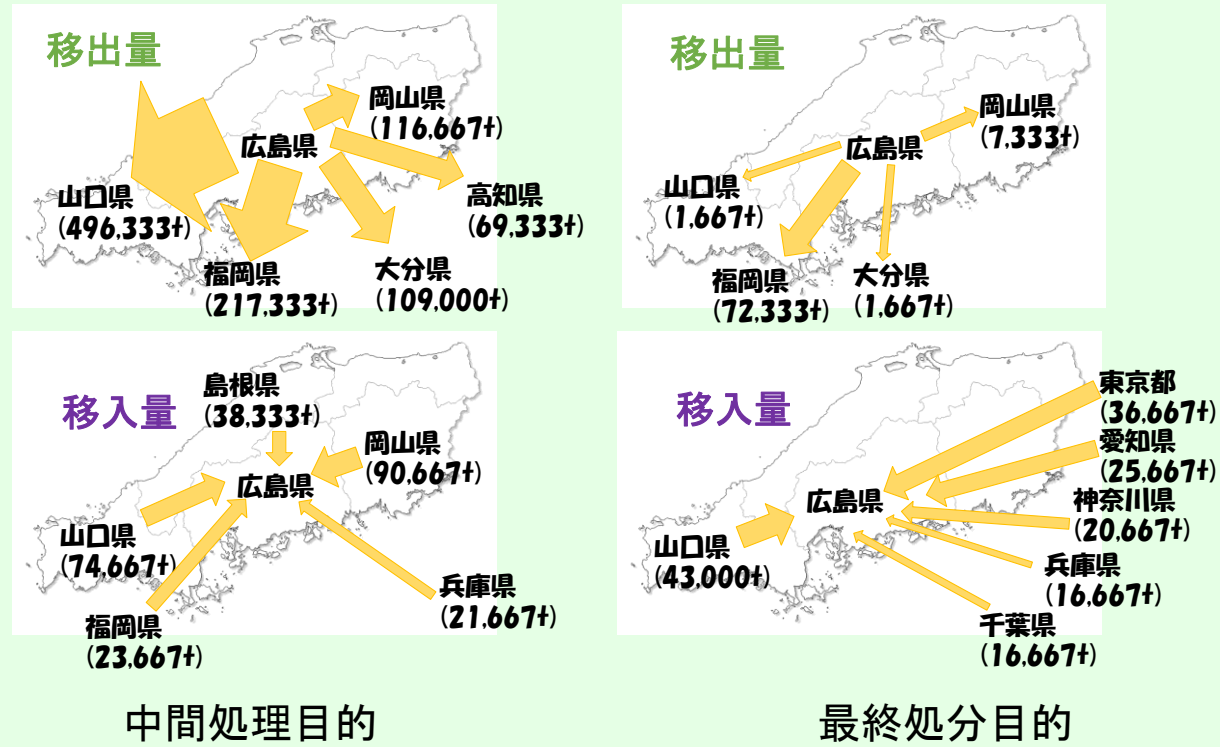


図-2 広島県における産業廃棄物の中間処理, 最終処分目的の移動量の多い都道府県(H23~25平均)

表-1 選定した廃棄物の移動先・移動距離と移動量

移出 【搬出都道府県数】(うち中国5県以外)		移入 【搬入都道府県数】(うち中国5県以外)	
燃え殻	【3】(1)	燃え殻	【2】(1)
汚泥	【5】(3)	汚泥	【15】(12)
廃プラスチック類	【7】(4)	廃プラスチック類	【24】(20)
鋳さい	【4】(2)	がれき類	【10】(6)
がれき類	【4】(1)		—
ばいじん	【7】(5)		—

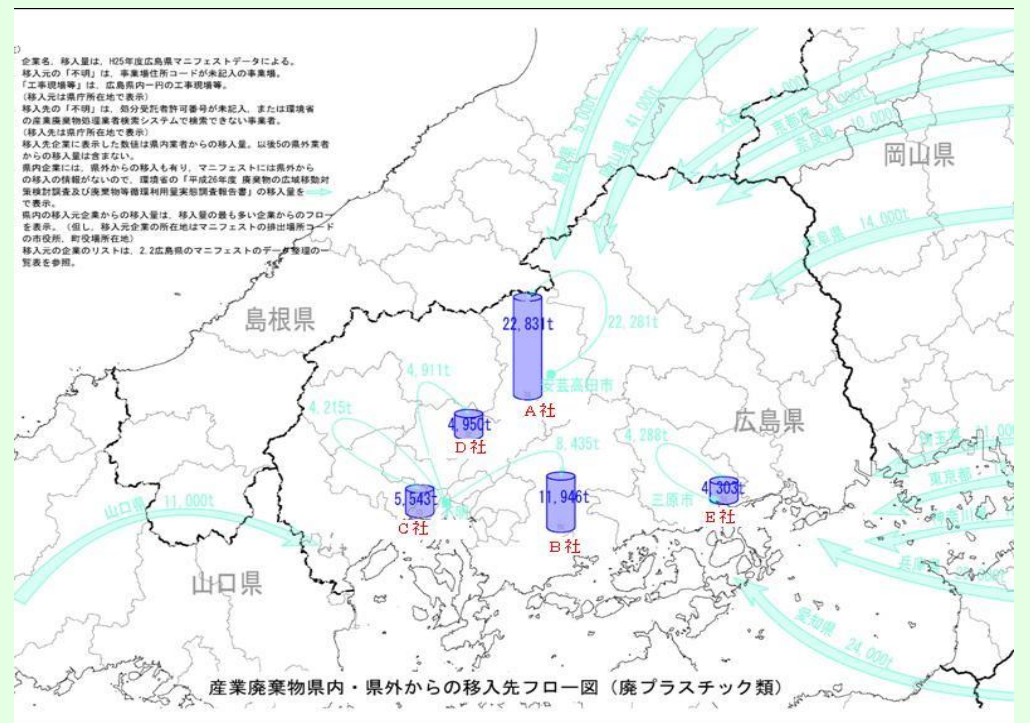
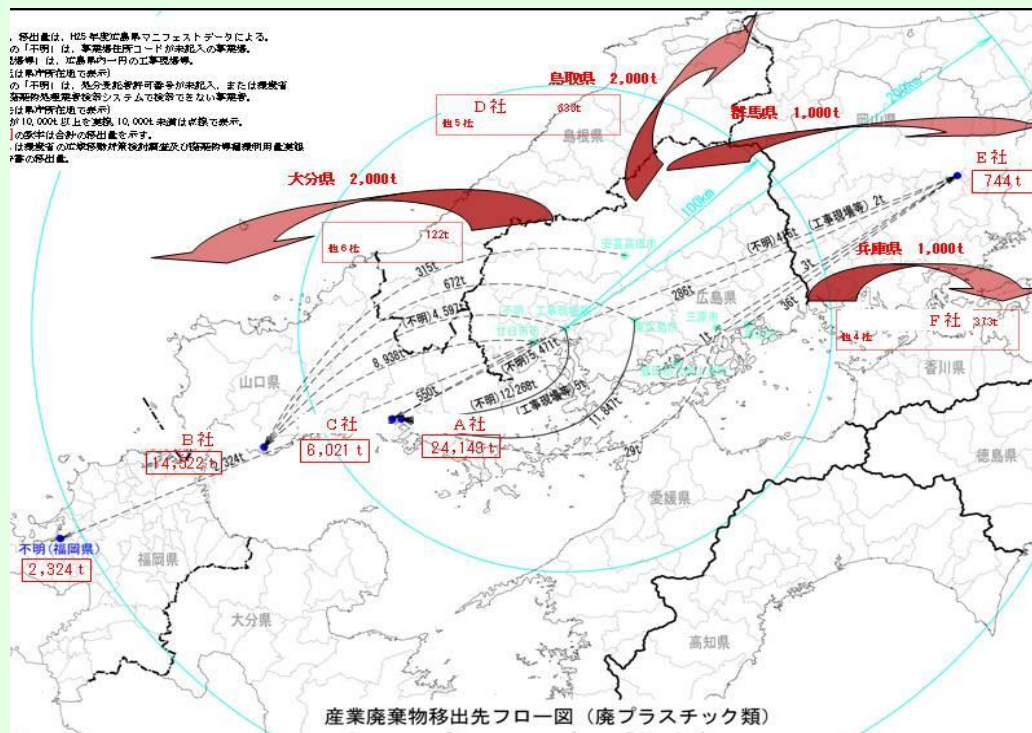


図-3 広島県マニフェストによる移出・移入の移動状況図(廃プラスチック類)